

交付申請書の日付と一致

申請者：〇〇〇〇株式会社

①従業員数（令和5年3月1日現在）

県内従事者Bの内訳を記入して下さい

（単位：人）

	全体	県外従事者 A	県内従事者 B		県内従事者Bのうち		
			観光部門	その他	正職員	その他	
従業員数	125	5	120	120	0	80	40

注1) 補助金交付申請時点の従業員数（1ヶ月以上の雇用期間を有する者（正職員、パート、アルバイト、有期・無期等の雇用形態を問わない）を記載して下さい。

注2) 県外で従事している従業員がいる場合は、Aに記載して下さい。

注3) 補助金の上限額については、Bの従業員数で判断します。

観光部門以外の県内従事者を記入して下さい

緑枠部分は自動計算のため記入不要

②現状及び課題

申請者が実施する観光の事業の現状と課題を記入して下さい

弊社は、〇〇〇市で宿泊施設（〇〇〇〇ホテル）を運営しているものの、新型コロナウイルス感染症に加え、物価高騰等による影響を受け、令和2年4月に150人在籍していた従業員（観光部門）が、現在120人となっており、コロナ前と比べ、人材が不足している。また、全国旅行支援（おきなわ彩発見NEXT）が開始されたことに伴い、利用者が増加しているものの、人材不足により十分な受入体制が整っていないことから、人材の確保やDXなどによる生産性向上が急務である。

③受入体制の再構築等に向けた取組内容

補助事業で実施する具体的な取組内容を記入して下さい

取組事項	具体的な取組
人材確保	<ul style="list-style-type: none"> 求人誌等を活用した人材の確保を行うとともに、人材紹介会社の活用や県外でのリクルート活動を行う。 回復傾向にあるインバウンドの観光客に対応するため、外国人労働者の確保に必要な住宅を借り上げる。 採用した職員については、〇〇〇研修を受けさせるとともに、中堅職員については、〇〇〇研修を受講させ、人材の育成にも務める。
受入体制の改善	<ul style="list-style-type: none"> 人材が少ない中でも生産性を向上させるため、自動チェックイン装置の導入、〇〇〇〇の設置など、受入体制の改善を行う。 バリアフリーに対応した〇〇〇を設置（修繕）するとともに、コロナ禍に伴い、従来提供していた〇〇〇〇サービスを休止していたものの、今後の観光需要に対応するため、〇〇〇〇を再開する。
前向きな投資	<ul style="list-style-type: none"> ホテル内にある〇〇〇〇について、高付加価値のサービスに繋がる〇〇〇を導入することで、今後の観光需要に対応する。